

## 会議録

会議の名称	平成30年度 第2回移動支援のあり方を考える勉強会
開催日時	平成30年4月24日(火) 午後2時30分から午後4時30分まで
開催場所	南町地区会館 2階和室
出席者	<p>【委員】稲垣会長、土谷委員、町田委員、和田委員、中静委員、菊池委員、長谷川委員、島田委員、大安委員、金成委員、金子委員、高木委員、佐野委員、絹川委員、神崎委員、信田様(バス事業者代理)</p> <p>【事務局】松本都市計画課長、広瀬主査、宮本主査、梶木主事、亀井主事</p> <p>【関係部署】企画政策課、高齢者支援課、協働コミュニティ課、生活福祉課、社会福祉協議会(ほっとネットステーション)</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 資料の説明について</p> <p>3 ワークショップ形式による検討</p> <p>(1) ワークショップの目的、進め方について</p> <p>(2) グループによる検討</p> <p>(3) 発表、意見交換</p> <p>4 総括</p>
会議資料の名称	<p>資料1：第1回移動支援のあり方を考える勉強会会議録</p> <p>資料2：バス停から150m圏域</p> <p>資料3：町丁別人口構成と人口密度</p> <p>資料4：ワークショップの目的、流れについて</p> <p>資料5：ワークショップの進め方について</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><u>1 開会</u></p> <p>○会 長： 前回は大変貴重な議論ができたと思う。市がこれまでののはなバスという公共交通だけでなく、移動が困難な方の外出を支援し、健康増進に繋げ、市民が市域で活躍するために必要な移動支援のあり方を検討するという大きな目的について全体で確認できたと思う。</p> <p>色々な課題があるが、特に西東京市は道が狭いという厳しい条件があり、はなバスが色々な場所を走れるわけではないことは、皆さんもご理解をいただいたかと思う。そのため、このような条件の中で、この地域にお住まいの高齢者、障害をお持ちの方々や乳幼児連れの方々が移動しやすく、日常生活を少しでも質の高い水準で送ることができるための移動支援のあり方を皆さんと考えていきたい。</p> <p>本日はワークショップ形式で行うが、地域の知恵は地域の皆さんでなければ発揮できないので、参加されている方がそれぞれの視点から忌憚のないご意見をたくさん出していただき、有意義な勉強会としたい。</p>	

## 2 資料の説明について

### ○事務局

#### 【資料説明の要旨】

##### ①資料1：第1回移動支援のあり方を考える勉強会会議録

- ・修正等の意見の確認 → 修正なし

##### ②資料2：バス停から150m圏域

- ・前回委員からご意見をいただいた資料
- ・路線バス、はなバスのバス停から150mの距離を示したもの

##### ③資料3：町丁別人口構成と人口密度

- ・前回委員からご意見をいただいた資料
- ・柳沢二、三、五丁目については、UR等の団地があり、人口が多く人口密度も高い。
- ・柳沢四丁目については、住んでいる人が少なく、老人ホームがあるため高齢者の割合が高くなっており、特に80代以上の人口の割合が高いのが特徴である。

○事務局： 資料2、3についてはこれから行うワークショップの参考にしていただきたい。なお、アンケート調査の結果からクロス集計を作成しているが、分析に時間がかかっているため、今後出来次第、皆様にお示しご説明したい。

○会長： 資料2については、通常はバス停からの圏域を300mで考えるが、実際は直線距離で移動できるわけではないので、もう少し狭くして考えてみてはどうかというご意見をいただき作ってもらったものである。柳沢小学校を中心として、赤の点線までがバス停から300mのところであったが、見ていただける通り、白い部分がかかなり広がっているのが分かると思う。

高齢の方はなかなか300mも歩けないのではないかというお話や地域包括支援センターの方々からも300mは広いのではないかというご意見もあったので、確認してもらえればと思う。

資料3については、柳沢四丁目で特徴的な部分はあるが、あくまで参考として見てもらえればと思う。

## 3 ワークショップ形式による検討

○会長： 今回は地域の課題を整理するため、まずは現状について共有認識を図りたい。

### (1) ワークショップの目的、進め方について

#### ○事務局

#### 【資料説明の要旨】

##### ①資料4：ワークショップの目的、流れについて

- ・移動手段の実態と地域の課題について共有認識を持つことを目的とする。
- ・ワークショップの流れ、注意点を説明

②資料5：ワークショップの進め方について

- ・作業1から作業5までの流れを具体的に説明
- ・補足資料により、ポストイットの使い方について説明

○委員：自分だけでなく、近所で聞いてきた話やその地域に住んでいる人の特性を書いてもいいか。

○事務局：はい。

○委員：全体で25分ということだが、作業2、3については時間が必要と考えるがいかがか。

○事務局：発表までを25分で進めていただいて、発表は別に15分とっている。

○会長：今日はワークショップを2回行う。前半で移動の実態ということで地域の皆さんがどんな移動をしているかを確認し、後半で課題の整理を行う。  
進行については、事務局の進行役が行うが、まずは皆さんの考えをたくさん書いていただきたい。

(2) グループによる検討、(3) 発表、意見交換

①移動実態の把握

[1 グループ 発表]

- ・田無駅にすべての地域からの意見が集中している。
- ・柳沢五丁目に住んでいるが、買い物は武蔵野、三鷹、特に吉祥寺へ出ている。
- ・吉祥寺へは西武柳沢駅から出ている関東バスを利用している人が多い。
- ・向台町の方は、武蔵境へ出ているようだ。
- ・以前は買い物といえば田無だけだったが、向台町のサミット、武蔵野市関前のいなげやや芝久保町のマックスバリューができたことで多少ばらつきが出ているが、買い物は不便に感じる。
- ・通院については、地域内にいくつか病院がある。

[2 グループ 意見]

- ・地元の商店街を使っていないようだが。  
→商店がない。文化通りとエース通りの商店がほとんどなくなってしまった。
- ・コンビニだけになってしまっている。

○会長：交通手段を細かく書いているが、皆さんのなかでどのような傾向があると思うか。

○事務局：ご意見は様々出たが、近いところであれば徒歩が多い。通院などで駅に行く方、三鷹などに出る方は、バスやタクシーを利用しているようである。  
西武柳沢駅や田無駅から中央線方面に行くのであれば、始発で座っていけるというメリットがあり、一度駅に行ってバスに乗り換えることがあるとのことがあった。

また、自家用車については、あまり話はでなかった。

○会 長： 田無に付箋が多く貼ってあるが、目的は買い物なのか。

○事務局： 買い物、通院がほとんどであった。

○会 長： 武蔵境駅のほうへの目的はなにか。

○事務局： 通院がほとんどで、買い物が少しであった。

#### [2グループ 発表]

- ・ 1グループとほとんど同じ傾向である。
- ・ 田無駅にかなり集中している。目的としては、買い物、通院、食事、レジャー、習い事とたくさんの意見が出た。
- ・ 西武柳沢駅と東伏見駅がほとんど使われていなかった。
- ・ 地元の商店はなくなっているが、柳沢地区の人は近くのセブンイレブンやファミリーマートまで歩いて行けるので利用している。
- ・ 通院は、田無駅を經由して佐々総合病院や西東京中央総合病院に行っている。徳洲会病院については、私は使っているが、自転車では行きにくいし、はなバスも乗り換えが必要なのであまり他の方からは意見は出なかった。
- ・ 通るルートとしては、ほとんどが文化通りに集中している。また、裏道でほとんど坂道を通らずに田無駅へ行くルートがあるとの意見があった。
- ・ 武蔵境駅や吉祥寺駅へは路線バスを利用しているが、武蔵境駅までは自転車や車で行くといった意見が多かった。
- ・ ガード下のバス停は、柳沢五丁目の人は利用しているようだが、ほとんど使われていないようだ。
- ・ 市外では、レジャーや習い事などの目的もあった。
- ・ 田無駅には、乗り換えのため、周辺の駐輪場を使う人がかなり多い。そのなかで、満車で利用できないという意見もあった。
- ・ 移動手段としては、坂があるにも関わらず自転車の意見が多かった。

#### [1グループ 意見]

- ・ 昔から通い慣れた場所に行く傾向がある。関前のいなげやや先ほど話があったサミットやマックスバリューができたが、それまではこのあたりは大買い物難民ゾーンであった。一部でも関前のほうに行く人が出てくると、その人は今後田無へは行かなくなると思う。今のところは惰性で田無へ行っている人がほとんどだと思ふ。

いなげやのほうは、柳橋に大きな交差点が2つあるので、渡るのがこわいと感じる人もいる。場所は遠いが、坂がなく、岩倉高校の裏の道は車も少なく、時間も遅くまで営業しているので、向台町のサミットのほうに行くようである。また、田無駅を利用している人は、駅で買い物をしてバスに乗って帰っている。

昔から田無へ行っているので、習慣から田無に意見が集中しているのではないか。新たに引っ越してきた人は、あまり田無に固執はしない。はなバスで田無駅に行くこともできるが、ヴィーガーデンに行ければ、田無までは行かない。

- ・ 田無へは坂があるので行きにくい。

- ・坂道を通らない裏道とはどこか。  
→ガード下のバス停の近くにセブンイレブンがあるが、その南側の石神井川沿いの細い道である。多少遠回りになるが、ほぼアップダウンがないので、自転車か歩行者しか通れないが、ベビーカーで通る人もいる。
- ・自転車の利用が多いのは、荷物が積めるからだと思う。
- ・アシスト付自転車を使うことで坂の問題をクリアしているのではないかと思う。

○会 長： 大枠としてはどちらのグループも同じような傾向が見られる。地域の方の移動の実態が良く分かった。ただ、西武柳沢駅や東伏見駅のほうへはあまり行っていないようである。これは行けないから行かないのか、行く理由が特になのか、そのあたりの理由や問題点についても後半の課題整理でできればと考える。

## ②地域の課題

○会 長： 次に地域の課題を考えるにあたり、前半で移動の実態についてまとめてもらったので、その移動に関する課題を考えてほしい。そうすれば、次回以降のワークショップで活かせると考える。

○委 員： 課題はエリアで考えたほうがいいのか。

○会 長： 具体的な場所を示して考えたほうが、具体的なまとめに繋がると思う。

(検討中における会長からの助言)

○会 長： このような話をしていると交通安全に関するご意見も出てくるが、バスやタクシーなど公共交通に関する意見も教えていただきたい。

## [2グループ 発表]

- ・文化通りを主に使っている方が多いが、坂が多く、歩道もなく、また自転車に乗っている学生が多いので時間帯によっては危険である。
- ・高齢の方がカートを押して歩くには、道幅が狭く、でこぼこもあり、危険である。
- ・全体的には道が悪い、狭い、坂が多い。
- ・エリアの中にバス停がない。周辺の道路まで出ないとバスが利用できない。
- ・バス停まで距離が長く、時間がかかる。
- ・バス停に自転車で行っても、周辺に駐輪場がなく不便。
- ・田無駅周辺でも駐輪場が満車で止められないこともある。
- ・向台町から東伏見に行くには、はなバスを使おうとすると一度バス停まででて大回りをしなければいけない。
- ・吉祥寺に行くには武蔵野大のバス停まで、武蔵境へ行くには田無や武蔵境通りのバス停まで出なければいけない。
- ・昔は保谷行きのバスがあったが、なくなってしまい、一度田無に出てからバスに乗る必要がある。また、本数も少ない。
- ・身体的な理由もある。
- ・小さな商店がほとんどなくなってしまったので、どうしてもスーパーや大型店まで行かなければならない。

- ・小さな病院は近所にあるが、検査など必要な場合、大きな病院に直通で行ける手段がない。

#### [1 グループ 発表]

- ・文化通りとエース通りが顕著な例であるが、道幅が狭い。交通量が多いわりに、歩行者用のスペースがない。
- ・歩いている途中で休憩するスペースがない。
- ・バス停にベンチがほしい。
- ・はなバスのバス停が周辺にない。
- ・吉祥寺に行くためのバス利用の際、バス停周辺に駐輪場がなく、歩いていくしかないので大変。
- ・田無方面は坂が多いので、武蔵境や吉祥寺へバスを使い出かける方が多い。
- ・向台町のサミットは駐車場が無料なので、若い世代の方は車で買い物や食事に行っているようである。若い方の集客を狙っているのではないかと考えている。

#### [2 グループ 意見]

- ・リヴィンは駐車場の料金が安い。2,000円以上購入しないと1時間も止められない。

## 4 総括

○会長： 皆さんには様々な立場から色々なご意見をいただき、情報を共有できたと思う。

移動の実態としては、田無にかなり集中しているが、吉祥寺や武蔵境といった中央線方面へのニーズもあるということが分かった。また、地元の大きめのスーパーなどを使っていることも把握できた。

移動実態に関する限定的な課題を示してもらったなかで、始めはやはり交通安全に関する意見が多かったと私は感じたが、それ自体は間違った議論ではない。例えば田無へ行く際に歩きや自転車に乗ることを皆さんはまず始めに考えていたはずなので、当然出てくる課題として、車にぶつかりそうになる、運転が危ない自転車が多い、坂が大変だ、座るところがほしいといったご意見があり、これは地域の中で徒歩や自転車で移動する際の課題としてお出しいただいたのだと思う。

後半で、私から公共交通を利用する際の課題がないかという提案をさせていただいたときに、自転車でバス停まで行って乗り換えたいが止める場所がないといった新しい課題を出していただいた。

地域の中を自分自身が移動しているときの課題と、専門用語では「フリンジ（地区の周辺）」というが、地域の外周での課題の提案がなされたのではないかと思う。

バス停まで自転車でいきたいが止める場所がない、バスに乗ってもそのルートが思うようなところに行かない、遠回りになっているといったご意見は、地域の中だけではなく、フリンジの部分からのバスの路線の形態も含めてこの地域の移動のことを考えなくてはいけないと感じた。

座れる場所を作るとか、坂のないルートや安い駐輪場の場所などの情報を共有するだけでも、移動のニーズは変わってくるかもしれない。

ただやみくもにバスを走らせたり、何かしらの便利な交通手段を考えたりするだけではなく、色々なハード整備であるとかソフトの情報共有で、新しい移動のあり方について考えられるのではないかと思った。

今回出していただいた現状の課題については、一度事務局で整理してもらおう。提案であるが、当初の予定では、次回移動手段について考えることになっていたが、別の視点で課題を整理する必要があると感じている。別の視点というのは、例えば西武柳沢駅に行かないのはなぜか、用事がないのか、ルートに問題があるのか、というような課題についても議論する必要がある。

もうひとつ議論してほしいこととして、外出できていない方々がいるのであれば、皆さんの周りでもいいのでその方々がどのように感じているか、また、外には出ているが何かしら移動手段に問題があり、行けない場所がある方もいると思うので、このあたりの課題出しをしたほうがいいと思う。そのために皆さんには次回までに情報を収集してほしい。

特に障害をお持ちの方々や子育てをしているの方々に関する情報はいただきたい。武蔵野市では、双子をお持ちのご家族でのネットワークがあり、貴重なご意見が出てくることもあった。多岐に渡る内容なので、色々な地域の方々と話をして情報を集めていただきたい。

○事務局： 次回の日程は、5月23日水曜日の10時から12時で、場所は柳沢第三集会所で開催する。当日の内容は、会長からお話があったところを一旦事務局で整理して、改めて課題の整理についてワークショップをさせていただければと思う。

当初予定していた移動手段の検討については、当日の進行状況を見ながら進めていきたい。

○委員： 健康だが外出しないシニア層が、なぜ外出しないかも併せて検討したほうがいい。せっかく健康応援都市を目指しているのであれば、皆さんが外出してくれるようなことを考えたほうがいい。ルートだけ作っても外出はしてくれない。高齢者支援課で実施している柳沢公民館での取組みもあるので、参考資料として出してみてもどうか。

また、外出する目的が作れるような取組みも必要ではないかと思う。

○会長： 事務局には資料を準備してもらい、皆さんからは地域の方々の状況、特に問題があるわけではないのに外出しない方が外に出てもらおうためのヒントはないかといった委員からの貴重なご指摘であるので情報収集のほうをよろしく願いたい。

それではこれで勉強会を終了する。

以上